

忍者

動画リンク: <https://www.youtube.com/watch?v=cHtWGhDhz3M>

今回は「日本の忍者」を学びながら、日本語を勉強しましょう。

この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字には「ふりがな」があります。後半は少しだけ速く(+20%)なり、漢字に「ふりがな」はありません。学習にお役立てください。

忍者は外国でもNinjaとして知られています。忍者は500年以上前の戦国時代に活躍した、超人的な身体能力を持つ男性集団です。

数は少ないですが、女性の忍者もいました。

女性の忍者は「くのいち」と呼ばれていました。

忍者がいたころの日本は戦いばかりしていた「内戦状態」でした。

そのころ日本には地域を支配する各チームのリーダーのような存在がたくさんいました。

この人たちを「大名」といいます。

大名とは、広い領地を持っている武士のことです。

内戦状態で、地域の支配者である大名たちが領土を大きくしようと戦っていました。忍者は大名の秘密組織でした。

大名たちの戦争において、表の戦闘は侍(Samurai)や武士(Bushi)が担当し、裏の戦闘を忍者が担当しました。

武士と侍は似ていますが少し違います。

「武士」は、刀を持って戦うことを仕事にしていた人です。「侍」は、厳密に言うと地位や家柄が高い人に仕える武士に使われる言葉です。

忍者が日本や海外で人気なのは、謎が多いダークヒーローだからだと思います。忍者の正体と魅力、そして現代の姿を紹介していきます。

【1】忍者は今はいません

最初に残念なお知らせをします。現代の日本に忍者はいません。忍者を名乗る人がいますが本物の忍者ではありません。

今、忍者を名乗る人たちは、忍者の文化を広める活動をしたり、忍者観光や忍者ビジネスに関係したりしています。

忍者は「忍びの者」と書きます。忍ぶとは人目を避けて行動したり隠れたりすること、「者」は人のことです。忍者はとても身体能力が高いという特徴があります。

忍者は影のヒーローで、音を立てず移動したり軽やかに飛び回ったりするところはバットマンやスパイダーマンと似ています。

忍者は敵の家や城に忍び込んで会話を盗聴したり、商人になりすまして敵の地域に住んだりして、スパイ活動をしていました。

忍者にはヒーローやアクション、スパイの要素があるため小説や漫画などの題材になりやすく、それで忍者ビジネスが成立しています。

日本のヒーローにはウルトラマンや仮面ライダーがありますがこれらは架空のものです。忍者はかつて実在した長い歴史があります。

【2】忍者の歴史

忍者の歴史を紹介します。忍者とは誰なのか。なぜその人たちは忍者の仕事をするようになったのか。そもそも忍者の仕事とは何か。

忍者は1300～1600年代に存在しました。コロンブスがアメリカに到達し(1492年)、ガリレオが地動説を主張した(1632年)ころです。

昔、貴族は農民を使って、地方の土地を耕して畑や田んぼをつくり食糧を生産しました。この農園を荘園といいます。

貴族は荘園のなかで乱暴な態度だったため、農民や若者がグループになって暴力的に反抗しました。このグループを悪党といい、これが忍者の起源です。

武士や侍は公式の軍や警察でしたが、忍者は非公式でした。しかし、忍者たちは独自に訓練をして力をつけていきました。当時の日本は内戦続きでした。

中央政府である幕府や地方政府である大名は、通常の戦争では武士や侍を使い、暗殺や陰謀などに忍者を使っていました。

忍者の使命には、敵の領土への侵入、放火、破壊、夜中に人を襲う夜討(ようち)、隠れて人を襲う待ち伏せなどがありました。

忍者のもう一つの重要任務は情報収集です。忍者は敵の大將の屋敷の屋根や床下に忍び込んで盗み聞きをして、自分の大將に報告しました。現代のように盗聴器やドローンはないため、実際に忍者が忍び込んで見たり聞いたりしていたのです。

忍者はアメリカのCIAやイギリスのMI6のような秘密警察やスパイの役割を担っていました。だから「忍ぶ」必要があったのです。

忍者は裏仕事を担当したので、仕事の痕跡を残してはいけません。そこで忍者は普通の武器ではなく、特殊な武器や忍術を使いました。

忍者の格好良さは、並外れた身体能力に加えて、この特殊な武器と忍術にあります。ハリー・ポッターの登場人物は魔法を使いますが、忍者は忍術を使います。

忍者は暗殺やテロ活動もしましたが、ヤクザのような反社会的なグループではありません。国や政治のために働いていました。

忍者は暴力組織のため男性が多かったのですが、女性の忍者もいて「くのいち」と呼ばれていました。

忍者という名称が広まったのは1950年代のことで割と最近です。当初は乱波(らっぱ)、透波(すっぱ)、草(くさ)と呼ばれていました。

1950年ごろに忍者を題材にした小説が大人気になり、映画や漫画にもなりました。これで忍者という言葉が日本に定着しました。

忍者作品で有名なのは司馬遼太郎の小説「梟(ふくろう)の城」や、白土三平の漫画「サスケ」「カムイ伝」などです。

忍者は少し大袈裟に描かれているかもしれませんが。歴史上の大事件の真相不明な部分を忍者のせいにしてしているのかもしれませんが。

忍者は江戸時代に入って世の中が平和になると役割を終えました。今の日本の法律では、忍者の行為は凶悪犯罪になってしまいます。

【3】伊賀と甲賀について

忍者には種類がありますが、伊賀忍者と甲賀忍者がよく知られています。伊賀は現在の三重県あたり、甲賀は滋賀県あたりの地名です。

伊賀忍者と甲賀忍者は拠点が近かったので、ライバル関係になったり協力し合ったりしていました。

伊賀忍者は傭兵のような存在で、お金を支払う人のために仕事をしていました。教養がある人が多かったのも伊賀忍者の特徴です。

伊賀忍者は、上忍三家と呼ばれた服部家、百地家、藤林家の3家が主導権を握っていました。服部半蔵は最も有名な忍者の一人です。

甲賀忍者は大名や領主に雇われて仕事をしていました。惣という共同体に属し、組織運営は平等、公平でした。

甲賀忍者で名がおっているのは猿飛佐助です。猿のように木から木へと飛び回っていたといいますが、実在しないという指摘もあります。

伊賀も甲賀も当時の首都である京都に近い山のなかに潜み、修業しながら生活していました。仕事が入ると街へと出かけました。

伊賀と甲賀以外にも忍者がいて、地方で独自に仕事をしていました。

江戸時代になると伊賀忍者も甲賀忍者も幕府(中央政府)のために働きました。軍、警備、要人警護、情報収集の仕事をしました。

【4】特殊な武器と忍術

忍者が過酷なミッションをコンプリートできたのは特殊な武器と忍術を使いこなしたからです。

手裏剣は金属製の手の平サイズの小型の刀で、敵に投げつけます。鉄砲は大きな音がしますが、手裏剣なら静かに相手をやっつけることができます。

クナイは手持ちのナイフで、敵を傷つけるほかに、壁に突き刺して足場にして建物に侵入するときに使います。

撒菱(まきびし)は数cmほどのトゲトゲした武器で、敵に追われたときに地面にたくさん撒いて敵を歩きにくくします。

鎖鎌(くさりがま)は約30cmの刃と約10cmの鉄球を鎖でつなげた武器です。鉄球を敵に投げて鎖でグルグル巻いて刃で刺します。

忍者も鉄砲を使いました。ただ忍者は素早く動かないといけないので小型の鉄砲を持っていました。

忍者は「鳥の子」と呼ばれる手榴弾のような武器も使いました。火薬を紙で包み、導火線に火をつけて相手に投げて爆発させてやっつけます。

火薬玉を爆発させると大きな煙が出ます。ピンチに陥ったときに煙で敵の視界を奪って逃げます。

鉤縄(かぎなわ)は、鉤という先端が尖ったU字形の金具に縄をつけたものです。鉤を高所にひっかけて縄を使って登ります。

忍刀(しのびがたな)は忍者用の短い刀です。

水遁(すいとん)の術は水中に潜む忍術です。シュノーケルのような道具を使って息をします。

水蜘蛛の術は水面を歩行する忍術です。水蜘蛛という水に浮く板を足底につけます。

木遁(もくとん)の術は、樹木や草原のなかに隠れる忍術です。樹皮や草を模したものを身にまといまいます。要するに迷彩服です。

土遁(どとん)の術は、地形や建物などを利用して身を隠す忍術です。

分身の術は、忍者が高速で動いて自分の残像をつくり、敵に複数人いると思わせる忍術です。本当にそんなことができたのかは不思議に思いますが、分身の術は忍者のさまざまな資料に記録されています。

金遁(きんとん)の術は変わった忍術で、お金をばらまきます。敵がお金を拾っているときに逃げます。

骨法術は武器を使わないで自分の体だけで敵を倒す方法です。柔道や空手、あるいはプロレスのようなものと考えてよいでしょう。

忍者も剣や槍を使います。それぞれ剣術、槍術と呼ばれました。

忍者走りは前傾姿勢で片手を前に、片手を後ろに固定したまま走る方法です。敵にみつきりにくい走法とされています。

歩き方も独特です。抜き足は太ももを高く持ち上げます。差し足は足の親指を先に地面につけま
す。忍び足は足音を立てずに歩きます。

犬走(いぬばしり)は犬のように両手両足を使って走ります。天井裏などの高さがない場所を通過
するときに使います。

気合術は気だけで敵を倒します。武器どころか手足も使いません。修業を積んだ忍者なら
「はっ！」と言うだけで目の前の人倒れます。

忍者の修業は厳しく、1日100km走ったり、5m以上ジャンプしたり、頭に長い布をつけて布が地面
につかないように高速で走ったりします。

教門は忍者が身につけておくべき知識や教養です。忍者は普段は一般人にまぎれて生活するの
で世間の常識が必要になります。

【5】現代の忍者とビジネス、教育

忍者をモチーフにした漫画「NARUTO」は世界中でヒットしました。忍者は日本を象徴するキャラ
クターとしてビジネスで使われています。

忍者観光ができる施設に登別伊達時代村(北海道)、野人流忍術(東京)、伊賀流忍者博物館
(三重)、日光江戸村(栃木)があります。

3)川崎重工は自社のバイクにNinjaと名づけ、映画「トップガン」に使われました。忍者の強さと速
さがバイクのイメージと合っています。

4)JICA(国際協力機構)はアフリカで行うビジネスコンテストをNINJAと命名しました。日本による
支援であることが一瞬でわかります。

5)伊賀忍者の地元、三重県にある三重大学は国際忍者研究センターをつくり忍者学を教えたり
地域振興を行ったりしています。

6)三重大学人文学部には忍者・忍術学講座という講義があり、学生は歴史のほか忍者の呼吸
法や俊敏な身のこなしなどを学べます。

7)三重大学は国立大学なので、国の教育・研究機関が忍者を研究している、ということもできま
す。

「日本の忍者」は、いかがでしたか？

今後の動画制作に活かしますので、感想を是非コメント欄から教えてください。

それでは、また別の動画でお会いしましょう。



Japanese-listening-SUSHI

